

アボリジニ通じ「豊かさ」考えよう

オーストラリア大陸の先住民・アボリジニの文化や思想を研究している愛知学泉短大（岡崎市舳越町）教授の青山晴美さんが、初めて的一般書「母が語るアボリジニの知恵」を出版した。アボリジニの文化を通して子育てや教育を考察しており、「中学生から子育て中の母親まで幅広い人に手に取ってもらいたい」と話している。

青山さんは米オレゴン大の言語学部を卒業。在学中から北米大陸の先住民と関わり、南オーストラリア大大学院アボリジニ学部修士課程を修了した。修了した日本人は青山さんが初めてで、周りはほとんどアボリ



アボリジニの子育てや教育に関する本を出版した青山さん＝中日新聞岡崎支局で

子育ての参考に

ジニの若者だったという。

著書で青山さんは、物を所有するという概念がないアボリジニの考え方に着目。生きていくために最低限の物だけで満足する姿勢は「本当の豊かさとは何かを考えるヒントになる」と指摘した。

社会全体で子どもを育てるアボリジニの教育法にも触れ、「つながりや分かち合いを大切に知る知恵に優れている」と話した。

B6判、二百三ページ。版元はブイツーソリューション（名古屋市中区和区）。千六百二十円（税込み）。インターネット通販のアマゾンなどで購入できる。

（佐藤浩太郎）

学泉短大の青山教授 初の一般書